

ガバナー月信 6月号

Rotary
第2750地区奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Governor's message

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度ガバナー

三浦 眞一

“熱きバトンを
未来につなぐ”2021-22 Governor,
Rotary International
District 2750
Shinichi Miura

本年度シェカール・メータRI会長は「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために SERVE TO CHANGE LIVES」をテーマに掲げ、「もっと成長し、もっと多くのことを成し遂げることで、ロータリーの奉仕を広げていきます」と述べられました。そして会員増強の必要性を「一人がひとりを入会させよう」と説かれ、ロータリーの成長の道を記されました。

このテーマをもとに本年度の地区スローガンを「奉仕の心でつながろう 地域と世界と」とさせていただきます。地区内の各クラブへの公式訪問でお話をいたしました。クラブ会員の皆様、地区役員の皆様のご努力下、コロナ禍においてもさまざまな事業を通じて心をつないでいただき、ロータリー活動の主体はクラブにあることが実証できました。

国際協議会はロータリー史上はじめてZoomによる開催となり、11日間にわたる深夜の協議会に参加しました。三大研修は、幹事団の皆様のご努力により、一人ひとりの距離を十分にとった形でリアル開催をすることができました。7月～9月には、オリンピック・パラリンピックが開催され、地区2020支援委員会を中心に、総力を挙げてお手伝いすることができました。地区主催の会員増強、公共イメージ、職業奉仕、米山委員長会議、ロータリー財団セミナーなどはコロナ禍の隙間を縫ってリアルで開催し、多くの会員にご参加いただくことができました。

新会員オリエンテーションは、何度も日程変更を余儀なくされましたが、リアル開催にこだわり、共にディスカッションをすることでロータリアンとしての大きな第一歩を踏み出していただけましたことと思います。

対外事業としては、地区ロータリー奉仕デーと世界ポリオデーをジョイントする形で、公共イメージ委員会を中心となり、トレインジャックイベントを敢行し、近隣

の地区からも協賛をいただき、大きな反響を呼び起こしました。併せて東京駅～有楽町駅間のウォークラリーをポリオサイバーの方々とともにに行い、沿道の人々や、有楽町駅前広場に集まってくださった方々に知っていただくことができました。

新クラブが設立され仲間が増えました。ローターアクトクラブも新設され、若い仲間が加わり、未来を標ぼうするロータリーを実践することができました。本年度新設したロータリーファミリー支援委員会が企画実行した「ホームカミングデイ」は、青少年奉仕活動のさまざまな分野の卒業生が一堂に会し、共に語り合い友情を深め、ロータリーファミリーの一員としてお互いが手を取り合い、共に歩いていく道を描くために大変重要な事業であります。これからの更なる発展を期待しています。

地区大会も例年通り2日間の日程で開催され、友愛の広場と懇親会以外は、すべて実施することができ、多くの会員にご参加いただけたことは望外の喜びです。

2月には、ロータリーが最も嫌悪する戦争が起きてしまいました。多くの国民が命を落とし、国が破壊され、多くの難民が発生しています。ウクライナにも多くのロータリアンがいます。我々は心を寄せ合って援助の手を差し延べたいと思います。皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

6月は国際大会がアメリカヒューストンの地で開催されます。終了後になりますが、PBGへも公式訪問をさせていただきます。ガバナーとしての一年の最後を飾る公式行事として、地区内すべてのクラブ公式訪問を2年ぶりに達成できることとなります。人類が新型コロナウイルスとの闘いを制し、再び前進することができることに深く感謝申し上げます。最後のガバナーメッセージとさせていただきます。

心からの愛と感謝を込めて…。

地区大会を終えて

地区大会実行委員会 委員長 田辺 隆一郎（東京八王子西ロータリークラブ）

2月に開催を予定した三浦年度地区大会でしたが、5月12・13日に延期をし、滞りなく終わることができました。まだコロナの感染状況が不安定かつ雨が降り続く中でしたが、約1,300名の方に参加をいただき心よりお礼申し上げます。

この地区大会にあたり2つの柱を明確にし計画しました。1) ガバナーの地元 八王子らしさをどう感じていただけるか。2) 全体時間をいかに短くするかというものでした。コロナ禍真っただ中、先を見通せない一年余

りの準備でしたが、実行委員会の皆さんの努力と協力により、それらを表すことができたといい感謝にたえません。



第2750地区 地区大会特集

RI会長代理歓迎晩餐会 5月12日(木)

グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3F [北辰]



八王子芸妓衆のお出迎え



辰野克彦 RI会長代理ご入場



三浦ガバナーの挨拶とご来賓紹介



辰野克彦 RI会長代理挨拶



菅原裕典 RI研修リーダー・ロータリーコーディネーター第一地域による乾杯



「八王子をどり」八王子芸妓衆



大槻哲也地区研修リーダーの閉会のことば



クラブ会長・幹事会 5月13日(金)

グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3F [北辰]



クラブ会長・幹事会開会点鐘





本会議 5月13日(金)

グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 3F [崑崙]



各クラブ(事務局)受付登録



ウエルカムプログラム「祭囃子・香川社中」



辰野克彦 RI 会長代理ご入場



三浦ガバナー開会点鐘で本会議開幕



国歌斉唱



物故会員への黙禱



ご来賓紹介



参加クラブ紹介



田辺隆一郎大会実行委員長の
歓迎のこたば



ガバナー挨拶
並びに地区現況報告



辰野克彦 RI 会長代理挨拶
並びに RI 現況報告



東京オリンピック・パラリンピック
競技大会組織委員会より感謝状



記念講演「オリンピック・パラリンピック東京大会を終えて」
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 記念品贈呈



記念品贈呈



記念公演「古澤巖コンサート」



登録委員会

信任状委員会

選挙委員会

決議委員会

各種委員会報告



大会決議採択



富澤為一
ガバナーエレクト挨拶



宮崎陽市郎
ガバナーノミネー挨拶



伊藤千恵ガバナーノミネー
デジネート紹介



ロータリー財団



米山



ハギヤ



辰野克彦 RI 会長代理へ
記念品贈呈



福原有一直前ガバナーへ記念品贈呈



長寿会員表彰



ホストクラブ東京八王子西 RC
金子会長謝辞



次期ホストクラブ東京品川 RC
増田会長挨拶



辰野克彦 RI 会長代理
講評



三浦ガバナー
謝辞、閉会点鐘

Re-CONNECT ロータリーファミリーホームカミングデイ 開催報告

ロータリーファミリー支援委員会 委員長 青柳 薫子 (東京広尾ロータリークラブ)

5月21日、第1回『Re-CONNECT ロータリーファミリーホームカミングデイ』、青少年オリンピックセンターとオンラインを繋いだハイブリッド形式で開催されました。

ロータリー新世代のためのプログラム、奨学金プログラムを修了した学友、ローターアクター・インターアクターや顧問教師、現役の奨学生、ロータリアンやその家族等、登録者数は約200名となり、スイス・ドイツ・インドから学友のオンライン参加（オンライン参加者約50名）があるなど、多様なロータリーファミリーがRe-CONNECTする素晴らしい機会となりました。

【第一部】は三浦眞一ガバナーのご挨拶のあと、『ロータリーを知る』、ロータリーの新世代向け7つのプログラム、ロータリーファミリーボイスの紹介、そして田中靖公イメージ委員長から、今年度の地区を超えての活動「ポリオデイ、トレインジャック」のご報告をいただきました。



【第二部】は『学友を知る』、企画から進行まですべて学友へお任せしました。冒頭、アイスブレイキングでは、RYLArian長川美里さんの見事なリードで前後左右に座る学友とロータリアンが繋がって、会場はすぐに和やかな雰囲気に包まれました。

京都精華大学前学長ウスビ・サコさん（マリ共和国出身、元米山奨学生）による基調講演、そして、海外で暮らした経験のある異なるバックグラウンドの学友4名、ファシリテーター長川さん、元米山奨学生沈雨香さん、

元ロータリー財団奨学生菅生零王さん、サコさんのパネルセッションでは、多様な価値観を認め合う社会の在り方、日本社会や日本人に対する思い、自分の役割等をテーマに、それぞれの視点からお話いただきました。改めて自らのアイデンティティーについて考えさせられる、内容の深いセッションとなりました。また、第二部は双方向のコミュニケーションを実現するために、アプリを活用し、会場/オンライン参加者からの質問をリアルタイムで受けつけ、スクリーンへ投影し進行に反映させていました。



【第三部】『懇親の部』では、会場/オンラインがそれぞれに交流を深めた後、最後は会場とオンラインが繋がって、海外参加のROTEXや米山学友のオンラインの声が会場へ届き、お開きとなりました。また来年皆様と会えることを楽しみにしています。



地区内にある同好会のご紹介

国際ロータリー第2750地区にはいくつかの同好会があります。

同好会は、クラブの枠を超えて、会の趣旨に賛同した人たちが集い、活動する場です。

地区のホームページには、これらの同好会に関する記事が掲載されています。

地区HP → 会員委員会ページ → 会員親睦（同好会）で見ることができます。

<https://www.rid2750kaiin.org/%E4%BC%9A%E5%93%A1%E8%A6%AA%E7%9D%A6-%E5%90%8C%E5%A5%BD%E4%BC%9A/>

今回は、その中からJAZZ同好会の実際の活動をご紹介します。

記事と写真は、この同好会のメンバーである、京浜グループ 小倉薫雄ガバナー補佐です。



去る、4月16日(土)シーボニアメンズクラブ(内幸町)で第2750地区公認同好会「Swing of Rotary」5th LIVEが開かれました。

ロータリアンが楽器を持って集い、歌い、大勢の観客を迎えての楽しい夜になりました。

ジャズを演奏する方、歌う方大歓迎です。

ご連絡ください。

小倉薫雄(東京白金RC)

2021-22年度京浜グループガバナー補佐:東京白金RC

ogura@power-st.co.jp



三浦ガバナーに「2750」two-seven-five-oを作曲してプレゼントしました。



今回も大勢の方に集まっていたいただきました。



ジャズスタンダードの名曲「Unforgettable」の熱演

— その他の同好会 —

同好会名	幹事クラブ	活動内容
スキー同好会	東京世田谷南RC	スキーシーズンにスキーツアーを開催、オフシーズンには懇親会を開催
陶芸同好会	東京西RC	日本の伝統工芸文化の一つ「陶芸」を通じて、やきものを作る楽しさを味わって頂くと共に親睦と交流の場とする
テニス同好会	東京西RC	明治神宮外苑インドアテニスコートで2~3か月に一度開催
軽音楽同好会	東京調布むらさきRC	軽音楽演奏を通じてクラブを超え会員同志の親睦を深め、チャリティコンサートを実施する
山の手日プラチナ会	東京米山ロータリーEクラブ 2750	親睦と友情を育み、職業奉仕を通してのライフサポート
子ども福祉同好会 「手に手の会」	東京田園調布RC	1.フードバンク…印刷ずれ商品や期限間近商品を集める 2.学習支援&食事補助…就学援助児童などを対象に不定期開催 3.児童養護施設…月1回定期訪問などして未就学児童と遊ぶ
IYFR東京フリート	未定	ロータリー精神のもと、海、川、湖にかかわるあらゆるスポーツ、親睦活動、奉仕活動を実践していきます。IYFRは“International Yachting Fellowship of Rotarians”の略で1947年にイングランドで設立されたロータリアンで構成されるRI公認の活動的で歴史のあるヨットの国際的な同好会です。

国際ロータリー第2750地区 2022-23年度 三大研修報告

次期地区研修リーダー補佐 加藤 高白 (東京八王子北ロータリークラブ)

地区チーム研修セミナー

「地区チーム研修セミナー」は、2022年2月17日(木)、ホテル雅叙園東京にて新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、ハイブリッド方式で開催しました。400余名のすべての地区チーム対象者に参加登録をいただき、会場は人数を限定し62名が集会。懇親会は中止にしました。

三浦眞一ガバナーのご挨拶に始まり、富澤為一ガバナーエレクトからの報告、服部陽子研修リーダーの講話、ガバナー補佐とグループ幹事からの就任挨拶、各委員会からの活動方針発表があり、地区チームメンバーが一致団結してスタートを切りました。

この研修の目的はガバナー補佐と地区委員長が各自の役割と責務を理解し、地区目標と地区の方針を共有することです。このセミナーで地区役員が初めて一堂に会します。チームとしての団結をはかり、地区目標に向けた活動意欲を高めます。地区役員に次年度に担う主な責務を説明します。次年度の国際ロータリーテーマを伝えるとともに、ガバナーエレクトの地区目標を説明し理解を得ます。



会長エレクト研修セミナー (PETS)

2022年3月24日(木) / 25日(金)、ホテル雅叙園東京にて『会長エレクト研修セミナー』を開催しました。新型コロナウイルス感染防止策をとり、ホテルの安全基準に従い実施。出席者は会長エレクトと地区役員あわせて128名でした。

1日目は三浦ガバナーのご挨拶に始まり、富澤ガバナーエレクトの報告、研修リーダーの講話、各委員会からの活動方針、地区一般会計予算、ロータリーの友について説明がありました。懇親会は中止。2日目はテーマ別意見交換をしました。セッション1・2は田中久夫講師による「クラブを元気にしよう!」「会員増強に秘訣あり!」、セッション3は大川哲郎講師による「経営の持続可能性を高めるESG経営」です。講演後にはセッションごとにメンバーが変わる12グループになりガバナー補佐と常設委員長がリーダーを務め討論をしました。参加者にとって関心の高いテーマなので討論は盛り上がり活発に意見交換がされました。最後に研修リーダ

ーより講評をいただき、ガバナーエレクトから一人ひとりに修了証が授与され、新会長は晴れ晴れと巣立ちました。

この研修の目的はクラブ会長エレクトが、会長としての責務を理解し、ガバナー補佐とともに年度目標を立てることにあります。PETSへの出席は会長エレクトに義務づけられていて、欠席の場合は補講に参加する必要があります。



地区研修・協議会

2022年5月11日(水)、ハイアットリージェンシー東京にて地区研修・協議会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止策をとり、ホテルの安全基準に従い座席数を制限し、全体研修には主会場と、ビデオ中継の第2会場、第3会場を設置しました。運営スタッフを最小限にする要請をして参加者総数は550名でした。

全体会議は多くのパストガバナーご臨席のもと三浦ガバナーのご挨拶に始まり、富澤ガバナーエレクトの報告、研修リーダーの講話、規定審議会報告、危機管理について、ロータリーアクト、ロータリーファミリー、地区大会、国際大会について各委員長より説明がありました。分科会は7つの項目を5つの部屋で実施。パネルディスカッションやワークショップを取り入れる部会もあり、それぞれ充実していました。分科会終了後、全体会議を再開し、7名より分科会報告、研修リーダーの講評をいただき、富澤年度の三大研修が無事に閉幕しました。

この研修の目的は会長エレクトがリーダーシップのスキルを伸ばし、次期クラブ委員長は各自の役割を理解することにあります。各クラブが次年度の目標を立てる準備が整います。





2021-22年度を振り返って

地区研修リーダー 大槻 哲也 (東京中央ロータリークラブ)



昨年7月、国際ロータリー第2750地区の「『三浦眞一ガバナー』チーム」は、地区スローガンに「奉仕の心で つながろう 地域と世界と」を掲げてスタートしました。

コロナ禍とはいえ、素晴らしい仲間が集い“より良い未来を創る”ため、熱い思いを込めて行動してきた活動はまもなくゴールです。

ご承知のように「まさか！」と驚きを隠せない世界中を震撼させる出来事が起きました。それは、トンガの火山爆発による甚大な天災、また、ロシア軍の侵略戦争によるウクライナの悲惨な戦災等です。三浦ガバナーの支援に対する的確なご指示で、ガバナー補佐等地区役員とクラブ会長が結束して、会員の皆さんの心を一つにまとめて寄付活動を実施されました。

今年度の研修計画は地区重点目標に沿って「ガバナー補佐研修」、三大研修といわれる「地区チーム研修セミナー」「会長エレクト研修セミナー」「地区研修・協議会」、

また「新会員セミナー」等の事業を全て滞りなく実施できました。

三浦ガバナーは、「2021～2024年度の3年間の地区戦略計画」を作成し、クラブに戦略計画委員会を立ち上げ機能させて「地域のリーダーとして、激しく変化する時代への対応を自ら実践していくためには、会員のさらなる成長を促し、地域とともに成長していく…」と力強く語られました。それは各クラブが「クラブと会員の活性化」を図って、クラブの革新と発展につなげる方向性を明確に示されたのです。

一方、研修や実践で学ばれた知見は「人生100年時代」を生きるロータリアンとして、人生観のヒントになるものと思います。私も一年間を振り返ると、多くの人との出会いやご縁から「他を思いやる心と、感謝の気持ちが大切であること」を学びました。

おわりに、研修事業を円滑に進めることができたのは、偏に羽田伊助研修リーダー補佐と研修委員、幹事団等皆さんの知恵と行動力があつたからです。心から感謝を申し上げて結びとします。

千代田グループ ガバナー補佐 佐藤 尚巳 (東京南ロータリークラブ)



昨年7月に新年度がスタートしましたが、その直後にデルタ株の感染が拡大し緊急事態宣言が発出され、どのクラブも例会運営に苦勞していました。8月中旬に予定していたガバナー補佐訪問も日程調整をしながら限

定人数で行い、9月に入って感染が落ち着いたところでガバナー公式訪問を行うことができました。

10月24日にはロータリーデーのイベントとして「End Polio Now ウォークラリー」が開催されました。コロナの感染状況の先行きが不透明であり、大勢が集まるIMの開催は年度内では困難と判断し、千代田グループはこの機会をIMとして設定しました。幸い天候にも恵まれ全クラブから総勢51名の参加がありました。ポリオについての理解とグループ内の親睦を深めることができ、ポリオ根絶に向かって活動を続けるロータリーの姿を一般の方々にも知ってもらおう大変良い機会となりました。

12月15日には東京赤坂ロータリークラブの創立35周

年記念例会が開催されました。地区内から多数のゲストの参加をいただき賑やかにお祝いをすることができました。

年末には東京麻布ロータリークラブから千代田グループ内にローターアクトクラブの設立をしよう、との発案がありました。東京麻布ロータリークラブの片岡会長が各クラブを回り丁寧に説明をし千代田グループ内の理解を得る努力をしました。ローターアクトクラブの設立に異議を唱えるクラブはありませんでしたが、短期間ではサポートクラブとなるための賛同が得にくいというクラブが多く、最終的には東京麻布ロータリークラブと東京サンライズ汐留ロータリークラブがサポートクラブとなり設立準備に入りました。年度を超える活動となる可能性が高いので、次年度のガバナー補佐、グループ幹事、会長・幹事会にも説明を行い、設立に向けての活動を継続しております。コロナ禍でもグループ協議会を通して8クラブの情報交換と親睦がうまく行えた一年でした。



2021-22年度を振り返って

銀座・日本橋グループ ガバナー補佐 山田 和之 (東京中央ロータリークラブ)



ガバナー補佐として一年を振り返ってみますと「感謝」の一言です。ガバナー補佐のお役目で大切なことはグループ内の結束です、結束には個人同士の信頼関係が必要です。そこで私は最初の協議会での自己紹介は出身地、仕事、現住まい、趣味等を話すようお願いしました。懇親会で共通の話題になればそこで新たなご縁が生まれます。

昨年1月に第1回グループ協議会を開催してから今年4月に12回を終えて6月には打ち上げを考えております。これら全てをリアルで開催しました。お付き合いいただいたクラブ会長、幹事皆様には心から感謝申し上げます。

次にご報告として当グループは当初11クラブでしたが、今年から東京バリアフリーマインドRCが加わり12クラブになりました。

協議会につきましては毎回例会や各委員会の状況等をご報告いただきました。コロナ禍での各クラブの力強い

活動報告には大変感動いたしました次第です。

冒頭にお話しいたしましたグループ内の結束の一端として各クラブの共同作業に取り組みました。まずは例会で重要な卓話者の情報交換です、各クラブのプログラム委員長の会合の場を設けて実施いたしました。これは次年度の江川明裕ガバナー補佐にも継続していただくようお願い申し上げます。もう一つは帝国ホテルの見学会です。これは大変好評で今度で3回目になりますが、あるクラブではご夫人同伴計50人の参加者で、アフターはホテルでのお食事だそうです。

このようにロータリーはご縁のきっかけを作っていくことがいかに大切なことか、人とひとの出会いで新しい世界が生まれて深い絆になっていくことがロータリーに入会した意義があり、また喜びになるのではないのでしょうか。

最後に三浦眞一ガバナー、お疲れ様でございました。ガバナー公式訪問では大変お世話になりました。また地区の役員の皆様お疲れ様でした。同期ガバナー補佐の皆様ありがとうございました。そして全てを纏めていただいた熊谷グループ幹事、田中幹事補佐に感謝申し上げます。

京浜グループ ガバナー補佐 小倉 薫雄 (東京白金ロータリークラブ)



コロナ騒動に巻き込まれながら、気がつけばもう一か月で今年度も終了します。「ガバナー補佐」という大役を背負って見よう見真似の多忙な一年でした。ガバナー補佐とは?の勉強から始まり、三浦ガバナーとのコミュニケーションを図るためにガバナーを自クラブの観桜会やジャズ同好会ライブにお呼びし、お付き合いしていく中で少しずつお話もできるようになりました。結果、スムーズに補佐訪問、ガバナー訪問が進み、グループ内をまとめることでそれなりにご協力できたのではないかと自負しています。

補佐訪問の際に「京浜グループ」12クラブの会長に今年度の「モットー」を出していただくことで、それを私が自筆で書にしたため「お軸」にしてプレゼントさせていただきました。そのお軸を例会のたびに掲げていただくことで、会長の方針がきちっと明らかになり、クラブの結束、ひいてはグループの団結につながったと思っ

ております。補佐訪問で各クラブにお伺いすると、各クラブの特色、奉仕の実績、クラブ協議会の意見交換から、問題点などが浮き彫りになり、興味深いものでした。グループ内の方々とも多く知り合いになり、次第に横のつながりの大切さを、考えるようになりました。

横のつながりの重要さをお伝える機会を設ける準備委員会を設立し、今年度最終日の6月30日に「京浜グループの集い」と称して、12クラブ、約400人のメンバーが一堂に会する企画を立てています。

今回のガバナー補佐8名とグループ幹事8名の合計16名の皆さまと、とても仲良くなり、ゴルフをしたり、集まって飲んで話したりしながら補佐としての方針を話し合っ、ガバナーに対して、地区役員の方々に対して協力して対応していきました。本当に良いメンバーに恵まれました。これからも引き続きお付き合いをお願いしたいと思っています。お世話になりました、ありがとうございました。



2021-22年度を振り返って

山の手東グループ ガバナー補佐 宮村 和加子 (東京広尾ロータリークラブ)



今年度は日本のロータリークラブ創設101年目の節目の年、オリンピックの開催もありイベント多く盛り上がる予定でしたが、コロナ感染拡大や戦争も始まり不安材料も多く、クラブや例会の運営に悩むスタートとなりました。

そういった中でも、当グループの会長幹事は前向きにクラブ運営に取り組み退会者防止や会員増強にも力を注ぎました。

感染拡大時のオンラインや臨時会議も含め全15回のグループ協議会を開催、地区の情報の伝達や目標について話すとともに課題を出し合い、コロナ禍での例会運営、新旧会員の交流や融和、若い会員の例会や活動への参加意欲、退会防止等への課題対策にも積極的に取り組み、例会の運営や親睦にヒントを見いだすことができました。

Zoomの利用にも徐々に慣れ、例会開催方法に工夫を凝らしハイブリッド形式や完全オンライン例会の導入もあり、会員の繋がりが切れないよう尽力しました。感染

対策に十分な配慮をした上で如何に例会の開催を続けるかを考え実行し、感染の影響なくクラブ運営ができたことは喜ばしいことでした。親睦活動も同様に継続できたことも今年度大きな成果となりました。年度開始前にMy Rotaryのラーニングセンターで学び準備を整えられたことは会長、幹事の自信に繋がりました。

2月から準備を進めた合同例会も開催方法について協議を重ね、4月21日(木)にハイブリッド形式で無事執り行うことができました。ホテルの会場には今年度と次年度の会長、幹事が参加し、会員はウェビナーによるオンラインで参加、252名の会員が登録されました。コロナ禍でありながらも各クラブが積極的に奉仕活動を行い、工夫を凝らして親睦活動を行った様子を会長が披露し互いに共有することができました。山の手東グループ11クラブは奉仕や親睦活動をもとに会員同士の絆がとても強いことが伺えました。

大変な一年でしたが、この一年の活動を顧みながら次年度にバトンタッチして、更なるクラブの発展に繋がられることを祈っております。

山の手西グループ ガバナー補佐 松岡 啓司 (東京成城ロータリークラブ)



三浦ガバナー年度の山の手西グループガバナー補佐は自ら進んでお引き受け致しました。

山の手西グループ、12クラブは米山学友中心クラブ、ネット例会のみで全世界がつながる米山Eクラブ、クリエイティブな自由人の集まりの代官山など多種多様なクラブから次年度創立60周年を迎えるクラブなどいろいろな考え方や、活動があり、各クラブにとっても、私にとっても、とても有意義な年度でした。

また、新しい試みと致しましては、従来のインターシティミーティングに代わりまして、12クラブが一斉に同じ日にそれぞれ違う場所でそれぞれ独自の奉仕活動を行うスタイルの山の手西グループの「ロータリー奉仕デー」が4月17日(日)開催されました。

「ロータリー奉仕デー」のコンセプトは、それぞれのクラブが自クラブの得意とする奉仕活動やまったく新しい奉仕活動などたくさんの会員、家族、奉仕関係者、一

般参加者など多数の参加を目的とし、ロータリー奉仕活動をたくさんの方々に認知して頂くことを目的としての開催です。

またこうした方法は各クラブが誇りを持って更に新たな連帯感を生み出すことができました。

「インターシティミーティング」「ロータリー奉仕デー」それぞれメリット、デメリットがあるとは思いますが、初めての試みにチャレンジできて良かったです。

また打ち合わせ段階では自由にさまざまな話し合いができ、激論を交わし有意義でした。

その中でロータリークラブ並びにロータリー奉仕活動の認知度アップのために「ロータリー奉仕デー」の新聞折込みチラシの作成配布や、「ロータリー奉仕デー」後の報告冊子(奉仕デー報告・12クラブ年間奉仕活動報告・12クラブ案内概要・会員入会促進等)の地元金融機関、証券会社等たくさんの人が集まる場所への配布設置のお願いなど今後に期待のできる活動であり一年でした。

各クラブ会長・幹事・会員の皆様・事務局の皆様一年間大変お世話になりありがとうございました。



2021-22年度を振り返って

多摩南グループ ガバナー補佐 山口 進一 (東京八王子南ロータリークラブ)



三浦ガバナー年度、ガバナー補佐を拝命いたしました。昨年来体調を崩したこともあり、私にとっては大変ハードな一年間でした。皆様についていくのが精いっぱい、ずーっとアタフタしておりました。そんな私

ですので、グループ幹事には大変、大変ご苦勞をかけ、お世話になりっぱなしでした。お陰様で何とかゴールが見える地点までたどりつくことができ、少しほっとしているのが現在の心境です。

7年ほど前にグループ幹事を経験させていただきましたが、そのころに比べてガバナー補佐が関わる地区の業務がかなり増えているのを実感しました。地区の各クラブへの協力がきめこまかになっているからだと感じます。また、各クラブも地区の提案を真摯に捉え、前向きに対応する姿勢に正直心を打たれました。ロータリー精神の盛り上がりを感じました。私自身、物凄くロータリーの勉強になりました。

アタフタした一年間でしたが、やっぱりロータリアンでよかったと強く感じさせられたのは、この一年で他地域のガバナー補佐、グループ幹事、地区役員の皆様、そして自グループの会長、幹事さんなど、多くの皆さんと楽しめる友達になれたことです。これこそロータリーの醍醐味だと思います。友達という掛け替えのない財産をいただいたロータリーに大感謝しながら、6月の締めめの期間を大切に過ごして参ります。

多摩中グループ ガバナー補佐 今藤 貫徳 (東京昭島中央ロータリークラブ)



ガバナー補佐を拝命して早いものでもうすぐ一年になろうとしています。

多摩中グループは、ガバナー公式訪問が一番早かったので、それまでにクラブ協議会を開催しなければならず、各クラブに

はスケジュール調整に多大なご協力を頂きました。また、2021年6月21日から始まったまん延防止等重点措置は7月12日から4回目の緊急事態宣言となり、会員が集まるガバナー公式訪問例会を開催することができずに懇談会だけを行ったクラブも多くあるなど出航早々荒波にもまれた印象が残っています。

その後も、通常であれば各クラブの例会に参加し会員の皆さんと楽しい交流をしていたのだと思いますが、緊急事態宣言下で例会が開催できない状況の中でのグループ運営だったため、そういったコミュニケーションができなかったことがとても残念です。

そのような状況化において、今年度の各クラブ会長、

幹事の皆さんには本当に恵まれました。いつも優しい笑顔でのご協力により、グループ協議会や緊急事態宣言隙間での飲み会など、クラブの垣根を超え和気藹々としても楽しい時間をご一緒することができました。

また、他グループのガバナー補佐やグループ幹事の皆さんとの交流も素晴らしく、一生のお付き合いになりそうな素敵な出合いを頂きました。残り少ない時間ではありますが、5月には東京武蔵国分寺ロータリークラブの30周年、そしてIMが待っています。多摩中グループらしく、皆さん達と元気に楽しく過ごしていきたいと思えます。



2021-22年度を振り返って

多摩東グループ ガバナー補佐 川島 保之 (東京稲城ロータリークラブ)



3年目のコロナ問題は進行中であり、東京でも毎日、数千人を超える患者が報告されています。3月初めよりの円安状態の中、ガソリンや食料など多くのものが値上がりしています。2月24日に発生したウクライナ

問題、エネルギー問題などと、さまざまなことにおいて、激動と変革期に向かっていると思います。

各クラブへのガバナー及び補佐訪問が、7月中旬～9月第1週に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置により延期され、最終的に11月30日までかかり、その間多くのクラブが例会を休止しており、グループとしての活動もなかなか進まない状態が続きました。

4月11日、東京よみうりカントリークラブにおきまして、多摩東グループゴルフ大会を開催し、晴天の中、10組40人のロータリアンに参加いただき、久しぶりに親睦を深め楽しいひと時を過ごすことができました。

4月13日、東京府中ロータリークラブ60周年記念事業が開催され、新山恵理さんのパイプオルガン演奏、府中市立第4中学校合唱部の方々の合唱は、大変感動的ですがすがしい時間を過ごせました。式典はコロナを鑑み、質素でしたが、大久保会長をはじめとする関係者皆様のご努力に敬意を示したいと思います。

各クラブにおきましては、ワクチン接種施設設営・受付業務。福祉施設の物品奉仕・会員増強6名純増4名。中学生のミツバチ事業に対する支援。文化センターにテントの提供。駅前で東京消防庁の協力のもとコンサート。ラオスへの支援、薬物乱用防止事業に対する支援。市内8か所子供食堂に対する支援、バングラディッシュにバスを送る事業、メキシコに飲み水を提供する支援事業。純増1名。蛍の放流事業に対する支援、多摩川清掃活動の参加など、限られた時間の中で事業を展開されましたことに対しまして、感謝感謝、一年間ありがとうございました。

PBグループ ガバナー補佐 Glen V. Perez (Rotary Club of Saipan)



PBGは皆さんご存じのように日本とは太平洋を介して遠い距離にあり、グアム、サイパン、パラオ、ポンペイそしてチュークの地域に合計9つのクラブから構成されています。

2020年の3月から世界中に拡散した新型コロナウイルスの影響を受けて、我々PBGの各クラブも記憶に残る大変な事態に直面してきました。しかしながら、各クラブとも会員それぞれが知恵を出し合いこの事態に弾力的に対応しています。この後も長く影響を及ぼしかねないこのウイルスに対して、会員やその仲間たちが健康を損なわないように十分配慮した上で、例会や奉仕活動を継続する方法を模索しているのです。毎月の例会もZoomを最大限に活用して開催することはもちろん、ガバナー事務所や地区役員会から提供される様々な情報をクラブ会員やローターアクトたちとも共有し、会員増強や地域への社会奉仕活動を実現することができました。特にZoomを用いて毎月開催される各クラブの会長・幹事会（PBGではローターアクトの会

員にも参加を促しています）では、国際ロータリーの動向や地区の活動状況についても具体的に理解することができるためとても有意義な機会となりました。このことは国際ロータリーが提唱している「Service Above Self（超我の奉仕）」に叶う安全な選択肢と言えるでしょう。小職自身、この一年間ガバナー補佐という役職を通じて大勢のロータリアンとZoomを活用しながらさまざまな活動を実行することができました。具体的にはロータリアン一人ひとりの人生をより良くすることはもちろん、ローターアクトやインターアクトといった若者たちが将来地域社会で素晴らしい指導者としての役割を果たせるための育成も含まれています。また国際ロータリーはこれまで数多くの素晴らしいテーマを生み出してきました。特に今年度の「Service to Change Lives（奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために）」はこの新型コロナウイルスによって、ロータリアンはもちろん世界中の人々の生活や人生に大きな制約をもたらしている事態を乗り越えるための道筋を表していると考えます。PBG担当のガバナー補佐としてそのお手伝いをする素晴らしい機会を得たことに大変感謝申し上げる次第です。



2021-22年度を振り返って

地区代表幹事 福山 眞吾 (東京八王子西ロータリークラブ)



新型コロナウイルス感染拡大により浅田、福原ガバナー年度の活動はその多くが影響を受けながらも工夫を重ねて成果のある2年だったと振り返りました。

まさかこのことが三浦年度まで引きずるようになるとは思いませんでした。

一年遅れの東京オリンピック続いてのパラリンピックと運動の祭典が続く中、多摩中グループからガバナー公式訪問が始まり11月末で終了することができました。

ガバナー補佐の方々のご尽力により各クラブとの対話は円滑であったものの、一方でコロナ禍により各クラブの運営に会長・幹事さん方が非常にご苦労されてきた事が手に取るように伝わってきたとのことです。

年度前の三大研修は、大槻研修リーダー、羽田研修リーダー補佐のコンビにより5月には無事終了し、ほっと胸をなで下ろすことができました。

三浦ガバナーが34地区ガバナー会議長職にあり、ま

とめ役の関係上他地区大会にも積極的に出向いたり、また東京での会を開いたり極めて多忙のようでした。

熱海の土石流災害、トンガの地震、ウクライナの戦火と天災人災が相次ぎ、それらへの見舞いの寄付を地区内クラブへ呼び掛け相当の金額を送ることができ、それぞれより御礼状を頂戴したことを改めてご報告いたします。

2月開催予定の地区大会は5月12・13日へと日程変更を余儀なくされましたが、橋本聖子大会組織委員会会長の基調講演、半能、バイオリン、八王子芸妓衆による「をどり」、お囃子と多岐にわたる出し物でございました。地区大会実行委員会の諸氏にはご苦労をお掛けしました。地区大会を三浦ガバナーの集大成の場とし、各表彰をされたクラブ会員の皆様に祝意を表します。

いよいよ我々幹事団が試行錯誤しながら進めてきましたことを今次年度の方々が進行させているのです。

単年度にて行事を進めるからこそ苦しみと楽しみがあると思われまます。

“ゆく川の流れは絶えずしてしかももとの水にあらず”

会員委員会 委員長 鈴木 隆志 (東京西ロータリークラブ)



シェカール・メータRI会長は過去にない会員増強の方針を明示されました。「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」と訴え、120万人を130万人にするとされました。高い目標が会員増強への近道と思っておりましたので、大いに共感しクラブの仲間を増やす支援のできる委員会組織を意識しました。

各グループから1名の委員を迎え、増強と維持を担当する会員委員会、そして懇親に軸足を置く会員親睦委員会の2委員会を組織しました。

具体的にはクラブへの会員増強への意識を高めるために、PETSでミニ卓話をし、地区研修協議会では会長部門にて卓話をさせていただきました。

各クラブの会員増強委員長には、会員増強セミナー(6月)を開催、WEB経由で視聴できるようにしました。年度直前に地区・クラブの皆様と増強への思いを共有できたいと思います。

しかしオリンピックが近づく頃、コロナ禍により思う活動ができずにとっても辛い期間となってしまいます。委員会としては、それでも増強のクラブ卓話をZoom、リアル計14クラブにて実施いたしました。

増強とともに力を入れる予定でした『親睦』。その活動になる地区の『同好会』に関して、クラブへのアンケートを行いました。しかしコロナにて親睦活動ができない中で、同好会拡大に向けての活動ができませんでしたことお詫び申し上げます。

5月の会長幹事会では会員維持に向けての『退会防止の呼びかけ(火の用心)』を強く訴えました。特に入会間もない会員の退会防止のため、ロータリーの楽しさを伝える企画や行動を最後までお願いしました。

今年度は、諸活動に制約を受けた年になりました。しかし、コロナ禍が減少すると、すぐ例会再開を模索したクラブも多かったのも、ロータリーの良さを実感した方も多かったのかもしれない。あらためて、一年間のご苦労に敬意と御礼を申し上げ、委員会のご報告とさせていただきます。ありがとうございました。



2021-22年度を振り返って

奉仕プログラム委員会 委員長 西澤 民夫 (東京赤坂ロータリークラブ)



奉仕プログラム委員会は職業奉仕委員会、地域社会奉仕委員会及び国際奉仕委員会の3委員会で構成されています。

ご存じの通り第2750地区の地区委員会は地区内の各クラブが奉仕活動をスムーズに行えるようにさまざまな支援をすることが主目的となっています。このことを国際奉仕委員会の吉澤靖司委員長が分かり易く常々お話しされていますので、引用させていただきます。

「国際奉仕委員会には4つの役割、3つのキーワード及び委員会の目指すものがあります。4つの役割とは①各クラブが事業しやすい環境作り②各クラブの情報の共有③クラブ間のマッチングサポート④PBGの情報提供、3つのキーワードとは①複数②継続③共同、委員会の目指すものとは、国際奉仕に関わる合同プロジェクトへの参加のおすすめです」。

皆様のおかげを持ちまして、以下の事業を行うことができました。誠に感謝いたします。

職業奉仕委員会(市川和博委員長)は「職業奉仕セミナー」を実施しました。コロナ禍の中、200名を超える大観衆で、

アンケートでも大好評でした。

地域社会奉仕委員会(太田嘉正委員長)は「奉仕のつどい」を「奉仕のつどい実行委員会(大日方委員長)」を特別に組成して、無観客ではありましたが、皆様が精魂込めて行った16のプロジェクトを発表することができました。本件には橋本年男地区幹事、平塚隆志副幹事からも多大のご助力をいただきました。

職業奉仕セミナー及び奉仕のつどいの成果はHP及びYouTubeに掲載済みです。

国際奉仕委員会はクラブ間での情報共有を推進するためHPを設け各クラブの活動をアップすることにも力を注ぎました。

ロシアのウクライナ侵攻があり、理性を持った人間なら夢想だにできなかった生き地獄が現実には起きました。ポーランドのロータリアンはバスに医療品・食料を満載して危険を冒しウクライナに行き、帰りに負傷者、子ども、女性を乗せられるだけ乗せ、ピストン輸送をしています。また、避難民が生活できるよう数多く引き受けてもいるとのこと。

信頼できる仲間が集まって作り上げてきたロータリークラブの役割は今後ますます重要になっていくと確信しています。

青少年奉仕委員会 委員長 武藤 英正 (東京世田谷南ロータリークラブ)



ロータリーの「青少年奉仕」について、その目的と意義を考えるため標準ロータリークラブ定款を改めて読んでみました。「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである」と明記されています。

社会奉仕や国際奉仕活動を行なっているのがインターアクト委員会とローターアクト委員会。異文化交流を深め、世界平和の実現に寄与しているのが青少年交換委員会。青少年指導者養成セミナーを実施して、若者にリーダーシップのスキルを身につけさせているのがRYLA委員会。そして我が第2750地区独自の青少年プログラムを行っているのがインターンシップ委員会になります。ロータリアンの多様な企業を中心に高校生の受け入れ先となり、地域企業、産業、職業への理解を深め、望まし

い職業観、勤労観を身に付けさせ、進路選択を支援する事業です。

今年度もCOVID-19の猛威により、地区青少年奉仕の各委員会の活動は、大きく影響を受けました。準備虚しく全く活動できなかった委員会から、オンラインとリアルな事業を効果的に繰り返し開催できた委員会もあります。また事業そのものの開催の方法を変えて成功し、次年度から新たに加えて行う委員会もあります。常に変化を恐れず、諦めずに事業を行う大切さを知りました。社会情勢をみると、悲惨な戦争も加わり、世界が先の見えない混沌とした状況に陥っています。21世紀になっても、多くの青少年たちが苦しんでいるのが現実です。

五大奉仕活動の一つである「青少年奉仕」は、青少年の健全な育成を行い、社会のリーダーを作っていくことです。平和な世界を実現させるため、ロータリーの役割はこれからますます重要になっていくのではないのでしょうか。



2021-22年度を振り返って

公共イメージ委員会 委員長 田中 靖 (東京小金井ロータリークラブ)



2021-22年度公共イメージ委員会の最大のイベントは地区ポリオプラス委員会と共同で行った「世界ポリオデートレインジャック」プロジェクトでした。10月17日から24日の1週間、JR東日本の首都圏を走る女性専用列車全車両と南武線、横浜線の各一編成の中吊り広告に「End Polio Now」のメッセージを掲げました。また同時期に有楽町駅前地下広場に5連のポスターを掲げました。10月24日、世界ポリオデー当日には有楽町駅前広場にてイベントを行い、そのメインとして「End Polio Now ウォークラリー」を行いました。500人を超える方々にご参加いただき、地区と地区の壁を超え、ロータリーとロータクトの壁をも超え、ポリオ根絶を願う人々が心から交流を図ることができました。11月には「公共イメージセミナー」をウェビナーとして開催しました。服部陽子第2地域R P I Cより「ロータリー公共イメージの重要性」という素晴らしいご講演をいただ

きました。セミナーとしてクラブ広報支援委員会から「ブランドリソースセンターにアクセスしてみよう・会員増強のためになるホームページの改善」、IT推進委員会から「グーグルフォーム」についてのお話をいただきました。下半期は主に「My Rotaryの登録率アップ」の活動を各ガバナー補佐のご協力をいただきながら展開しました。年度が始まる時点で49%台だった登録率は4月下旬の時点で53.19%まで上がりましたが、目標である60%までは程遠く、登録率アップの難しさを痛感致しました。その他にも年間を通して、地区の委員会、セミナー、各クラブの例会、合同例会などのオンライン開催を現地にてサポート致しました。また、幾つかのクラブにて、「世界を変える行動人」(ロータリーの新しいグローバル広告キャンペーン)の卓話を行わせていただきました。以上が活動報告となります。一年間、公共イメージ活動にご協力いただき、ありがとうございました。

ロータリー財団委員会 委員長 安保 満 (東京昭島ロータリークラブ)



財団委員長の最終年度となる今年度はロータリー財団委員会の使命を達成するために、前年同様の「ロータリー財団をもっと身近な存在に」～近くて便利～という委員会方針を立て前年の活動をさらに加速させるべく取組みを行いました。財団委員会の使命であるロータリー財団プログラムへの参加者を増やすこと、そしてロータリー財団に対する財政支援を増やすこと、そのためには何をすべきかを考えた前年度の戦略を実行し成果を出すべき年度となりました。

財団プログラムへの参加者を増やすためには「プログラムを知らなければ参加できない」「参加しやすいものでなければ参加できない」「参加する価値のあるものでなければ参加できない」という観点から広報活動の強化、財団委員会の強化、卓話の充実、補助金申請／報告のオンライン化の導入、補助金支給基準の見直し、国際財団活動資金(WF)が減額される中でのロータリー財団奨

学金の維持等、さまざまな施策を実行しました。

また、ロータリー財団に対する財政支援を増やすためには「寄付のその後の使用方法をディスクローズする」「ロータリー財団の第三者評価を正しく伝える」という観点から財団セミナーやクラブでの卓話、グループ協議会でのプレゼン等、あらゆる機会を通じてロータリー財団の活動をロータリアンが腹に落ちる感覚を味わえるよう活動しました。

コロナ禍でクラブが例会を中止、縮小せざるを得ない状況の中、寄付総額は日本34地区でトップを快走しております。残された期間は僅かですが三浦ガバナーが掲げたリーディング地区に相応しい寄付実績を達成するため最後まで手を緩めず活動します。

一年間、委員長を支え協力してくれたロータリー財団委員会のメンバー、コロナ禍においてもロータリー財団への支援を継続いただきました地区内の全てのロータリアンに心より感謝申し上げます。



2021-22年度を振り返って

米山記念奨学委員会 委員長 宮崎 陽市郎 (東京三鷹ロータリークラブ)



米山記念奨学事業に対し深いご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスに振り回された一年でありましたが、委員会の皆様の力強いサポートのおかげで予定通りの活動が実施できました。

資金推進では、コロナ禍でリアルな例会も開催が難しい環境下で現在昨年度以上のご寄付の協力をいただいております。3月末時点で平均個人寄付額は、18,320円で全国3位となっております。それに比べ個人の特別寄付割合は、37.7%と全国平均39.6%を下回っている状況です。着地点はまだどうなるかわかりませんが、今後の課題と言えましょう。

選考委員会では、学校推薦応募者の国籍がまだ偏っておりますが、中国、韓国、台湾、ウズベキスタン、セネガル、エジプト、タイ、ルーマニア、ネパール、マレーシア、インドネシア、ロシアと継続の奨学生を含め48人

の奨学生を支援することになりました。今後は今以上に指定校への説明会にて幅広い推薦をお願いしていきます。

学友委員会では、バーチャル広島研修旅行、高尾山ハイキング、オンラインでのワークショップ（パネルディスカッション）、米山梅吉記念館への日帰りバス旅行（5月実施予定）等、第2750地区米山学友会のメンバーもお手伝いいただき素晴らしいイベントを開催できました。

今後は、関西学友会を見習い、メンター制度を取り入れるなど、ロータリアンと米山学友が協力し合い奨学生を支援する体制を整える必要があると思います。

最後に、一日も早く今まで通り奨学生とロータリアンの交流ができる日が来ることを願ってやみません。

ご支援、ご協力誠に有難うございました。

感謝状の授与

地区にポール・ハリス像を贈呈

盛岡 公彦 (東京京浜ロータリークラブ)

1935年国際ロータリー創設者のポール・ハリスがマニラでのロータリー会議出席のため、航路途中東京に滞在された折、日本のロータリー 5クラブ(東京、新橋、京都、大阪、神戸)からポール・ハリスにブロンズ胸像が贈呈されました。この時の胸像は日本ロータリーの創始者米山梅吉の依頼により彫像家であった私の父盛岡勇夫が制作したものです。そして、その制作にあたっては父がかねてより親交のあった株式会社資生堂の初代社長で、写真家でもあった福原信三の銀座のスタジオで写真撮影が行われたといわれています。この度お贈りさせていただく胸像はこの時の写真をもとに別途制作されたものです。第2750地区のロータリアンの皆さんがポール・ハリスの胸像に接することで、ロータリー精神を一層高揚していただければ幸いです。



盛岡氏制作のポール・ハリス胸像



三浦ガバナーより感謝状の授与

盛岡公彦氏 略歴

1926年(大正15年)10月生まれ 95歳。
父より経営を引き継ぎ立体写真像株式会社社長、会長を務めた。同社で制作の肖像は1927年(昭和2年)創業以来日本の歴代首相、米国の歴代大統領など多数の著名人などを含め2万点を超える。

ロータリー歴

1989年6月 東京京浜ロータリークラブチャーターメンバー

1991-92年度 クラブ会長

ロータリー財団 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者



ご協力を感謝いたします

寄付情報

◎はマルチプル (敬称略)

アーチ・クランフ・ソサエティご紹介

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 辰野 克彦, 辰野 しげみ +

メジャー・ドナーご紹介

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 古木 謙三, 齊藤 司享

ポール・ハリス・ソサエティご紹介

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 山崎 充, 桑原 清幸

ポール・ハリス・フェローご紹介

Large table listing names, addresses, dates, and amounts for Paul Harris Fellows. Includes 田中 秀和, 森本 由美, etc.

3月寄付

Table listing names, addresses, dates, and amounts for various donors. Includes 武藤 英正, 児嶋 三枝, etc.

ベネファクターご紹介

Table listing names, addresses, dates, and amounts for Benefactors. Includes 秋山 泰伸, 遠藤 泰夫, etc.

米山功労者ご紹介

Table listing names, addresses, dates, and amounts for Yasuyama有功者. Includes 石川 和子, 田中 結加, etc.

ポール・ハリス・ソサエティご紹介

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 洪 崇富

ポール・ハリス・フェローご紹介

Table listing names, addresses, dates, and amounts for Paul Harris Fellows. Includes 指田 春乃, 芳村 正徳, etc.

4月寄付

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 増田 太一

ベネファクターご紹介

Table with 4 columns: Name, Address, Date, Amount. Includes 内田 久美子, 陣内 隆

米山功労者ご紹介

Table listing names, addresses, dates, and amounts for Yasuyama有功者. Includes 守屋 辰雄, 田中 淳夫, etc.

国際ロータリー第2750地区会員数報告 - 4月分 -

District 2750 Membership Report April 2022

クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数			クラブ名	例会	会員数			
		21年7月1日	22年4月末	増減			21年7月1日	22年4月末	増減			21年7月1日	22年4月末	増減	
千代田グループ				東京城西	3	57	56	-1	東京小金井	3	38	39	1		
東京南	4	189	185	-4	東京西南	3	40	39	-1	東京国分寺	3	37	37	0	
東京芝	4	58	61	3	東京原宿	2	14	16	2	東京三鷹	2	39	39	0	
東京新橋	3	53	52	-1	東京杉並	4	38	38	0	東京昭島	4	51	52	1	
東京赤坂	4	46	53	7	東京神宮	2	24	26	2	東京国立	4	42	40	-2	
東京みなと	3	32	33	1	東京恵比寿	3	108	110	2	東京立川こぶし	4	86	84	-2	
東京麻布	4	13	16	3	東京広尾	4	26	28	2	東京井の頭	3	23	26	3	
東京グローバル	2	19	21	2	東京渋谷	4	35	35	0	東京昭島中央	4	48	48	0	
東京サンライズ汐留	3	16	17	1	東京六本木	4	53	55	2	東京武蔵国分寺	4	40	42	2	
銀座・日本橋グループ				東京愛宕	4	31	34	3	東京小金井さくら	4	29	27	-2		
東京銀座	3	185	181	-4	山の手西グループ				東京国立白うめ	2	16	17	1		
東京日本橋	3	194	197	3	東京世田谷	3	41	41	0	東京ピースウイングE	4	21	20	-1	
東京築地	4	70	70	0	東京目黒	3	33	32	-1	多摩東グループ					
東京日本橋東	3	42	41	-1	東京成城	1	15	15	0	東京府中	3	51	52	1	
東京中央	4	194	198	4	東京世田谷南	3	87	87	0	東京調布	4	60	64	4	
東京日本橋西	3	44	42	-2	東京城南	2	15	25	10	東京多摩	3	17	16	-1	
東京銀座新	4	76	77	1	東京山の手	4	70	75	5	東京稲城	5	26	26	0	
東京シティ日本橋	4	31	31	0	東京成城新	4	30	30	0	東京武蔵府中	4	39	36	-3	
東京中央新	4	56	59	3	東京青山	2	16	17	1	東京たまがわ	3	17	14	-3	
東京あけぼの	3	19	20	1	東京自由が丘	3	14	15	1	東京多摩グリーン	3	26	24	-2	
東京山王	3	37	36	-1	東京米山友愛	4	37	38	1	東京調布むらさき	3	64	65	1	
東京パリアフリーマインド	2	20	20	0	東京米山ロータリーEクラブ2750	1	35	37	2	東京iシティ	2	18	19	1	
京浜グループ				東京代官山	2	26	28	2	パシフィック・ペイスグループ						
東京羽田	4	51	51	0	多摩南グループ				Guam		51	53	2		
東京品川	4	41	37	-4	東京八王子	3	59	61	2	Saipan	4	44	50	6	
東京大森	4	31	32	1	東京町田	5	57	69	12	Tumon Bay	2	60	65	5	
東京品川中央	3	28	26	-2	東京日野	4	31	33	2	Northern Guam	2	31	33	2	
東京田園調布	4	44	42	-2	東京八王子西	4	107	106	-1	Pohnpei		16	16	0	
東京港南マリン	3	17	16	-1	東京町田・中	4	23	23	0	Palau		16	16	0	
東京大崎	3	24	24	0	東京八王子東	4	34	34	0	Guam Sunrise		14	16	2	
東京蒲田	4	66	65	-1	東京八王子南	4	76	78	2	Truk Lagoon		8	8	0	
東京京浜	2	24	24	0	東京町田東	3	35	35	0	Pago Bay Guam E		25	25	0	
東京田園調布緑	3	18	18	0	東京飛火野	4	21	23	2	国内88クラブ計			4,226	4,298	72
東京白金	4	27	29	2	東京町田東	4	29	26	-3	地区97クラブ計			4,491	4,580	89
東京高輪	2	20	21	1	東京八王子北	3	42	42	0						
山の手東グループ				多摩中グループ											
東京西	4	196	188	-8	東京立川	5	118	121	3						

深く哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします



五来 純 (東京成城RC)
 2022年3月2日逝去(享年65歳)
 2001年4月1日入会
 2008-09年度 クラブ会長
 2014-15年度 クラブ会長
 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
 米山功労者(2回)



古谷 馨 (東京日本橋東RC)
 2022年4月24日逝去(享年94歳)
 1972年12月2日入会
 1977-78年度 クラブ幹事
 1993-94年度 クラブ会長
 ベネファクター
 マルチプルボール・ハリス・フェロー 3回
 米山功労者
 第6回米山功労者マルチプル



佐藤 晃一 (東京西RC)
 2022年5月10日逝去(享年97歳)
 1997-98年度 クラブ会長
 東京六本木RC特別代表
 米山功労者マルチプル
 ボール・ハリス・フェロー
 ベネファクター

編集後記

諸星 宗幸 (東京八王子西RC)

ブレブレの一年でした。当初予定の各月4頁構想も、あの記事、この話題と掲載したいものが増えてくるに従い、5頁になり、6頁になりと、増えてしまいました。

もう一つは、寄付情報の掲載です。セキュリティの観点から掲載月を飛び飛びにしようと思いましたが、寄付情報自体のボリュームに圧倒され、結局は毎月の掲載になってしまいました。以上の2点で、構想が大きくブレましたが、どちらも決して悲観的になるほどの悪さはないと思っています。

ともあれ無事12号を発行することができました。ガバナーはじめ、関係する多くの方々、そして読んで下さった方々に感謝申し上げます。

国際ロータリー第2750地区 2021-22年度 ガバナー 三浦 眞一 Rotary International District 2750 2021-22 Governor Shinichi Miura

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750
 KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行 ガバナー 三浦 眞一 (2021-22) Shinichi Miura 2022

編集・制作 ガバナー月信・年次報告委員会

委員長 諸星 宗幸 (東京八王子西) 委員 石川 和子 (東京中央新) 竹平 時彦 (東京大森)
 副委員長 二神 典子 (東京築地) 渡辺 和彦 (東京銀座) 荒木 賢一 (東京南)
 浅川 立憲 (東京八王子西) 太田 智 (東京中央) 須賀川 誠 (東京銀座)

第2750地区ホームページ

<https://www.rid2750.org>

